

AIによる自動車修理見積りチェックシステムの導入について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）は、今般、イギリスのスタートアップ企業である Tractable Ltd (CEO: Alex Dalyac、以下「トラクタブル社」) のAI技術を活用し、自動車事故の車両修理見積りを自動点検するシステムを導入しました。2020年6月から一部の保険金支払部門で順次開始し、本年度内に全国で運用を開始します。

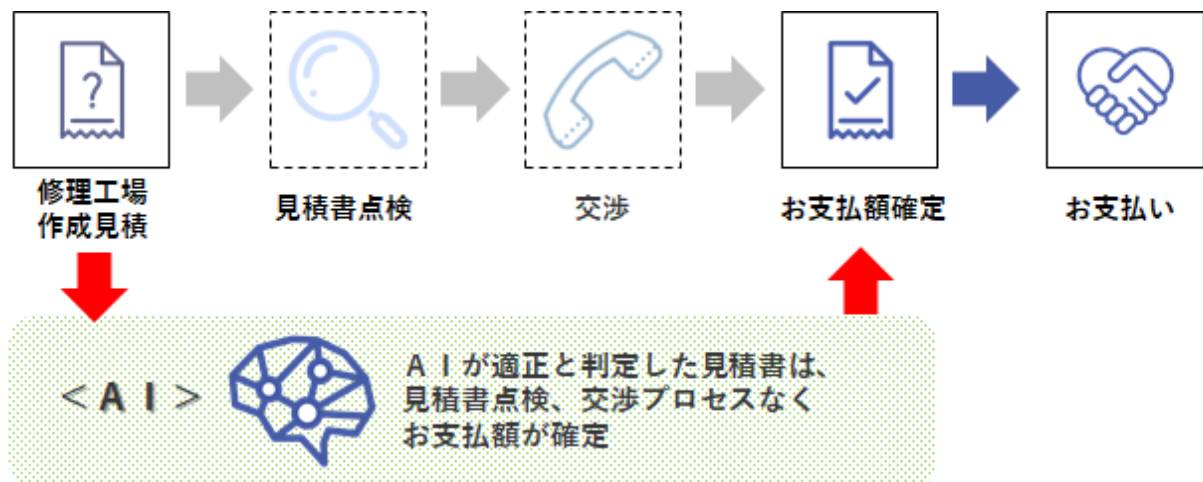
MS&ADインシュアランスグループは、今後も先進デジタル技術を活用し、「一日も早い保険金支払い」に努めていきます。

1. システム導入の概要

本システムは、過去の自動車事故における膨大な損傷写真や車両修理見積りに基づき、事故車両の損傷箇所に加えて、自動車販売店や修理工場が作成した修理見積書の妥当性を自動的にチェックするシステムです。

これにより適正な修理見積り内容と判定した場合には、専門社員による見積書の点検を省略して、これまで以上に迅速にお客さまへ保険金をお支払いします。また、これまでの点検プロセスをAIが代替するため、見積書の点検業務等を行う専門社員による修理費認定プロセスの大幅な省力化が可能となります。本システムの導入により、従来、数日を要していた修理内容の点検業務を数分で完了でき、従来、保険金支払いまでに約30日程度要していた期間を、約2週間程度に短縮します。

＜AI査定の業務フローイメージ＞



2. 導入の背景

当社グループは、デジタル技術を活用して事故の発生から保険金支払いに至るプロセスの自動化を推進し、お客さま体験価値の向上に取り組んでいます。

現在、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保では、それぞれ年間約100万件を超える自動車事故を受け付けており、その損害調査においては、修理工場から損傷写真と修理見積りを受領し、専門社員が見積書の妥当性を1件1件点検しています。このため、迅速かつ正確な点検手法の確立が課題となっていました。

こうした状況を踏まえ、さらなる迅速な保険金支払いに向け、2019年度からトラクタブル社との実証実験とAI学習および試行的な運用を重ねた結果、本システムを導入することとしました。

3. 今後の展開

当社グループは、今後もさまざまなデジタル技術の活用を通じて、将来的には即時にお客さまへ保険金をお支払いできる体制の構築を目指し、調査・研究を進めていきます。

<トラクタブル社の概要>

- 名 称 : Tractable Ltd.
- 本社所在地 : イギリス・ロンドン
- 設 立 年 : 2014年
- 代 表 者 : Alex Dalyac
- 事 業 内 容 : 自動車事故や災害における迅速な保険金支払いや損害復旧を可能にするAIソリューションを開発しています。1億枚以上の画像データをAIモデルに学習させ、北米・ヨーロッパ・アジアの10か国以上でソリューションを提供しています。
また、ベンチャーキャピタルから5,500万ドルの資金を調達し、ロンドン・ニューヨーク・東京に拠点を設けています。

以 上